



はじめに



～名古屋市見守り活動虎の巻作成にあたって～

人口の減少や少子高齢化等により、経済や雇用情勢は変化し、家族形態は変わり、社会的な孤立や孤独、生活困窮といった新たな福祉課題も生じています。

このような中、「つながり」や「支えあい」といった一人ひとりの生活を支援する活動がますます重要となっている一方、地域におけるつながりの希薄化が進み、社会的孤立の広がりが社会的問題となっています。

こうした中、ひとり暮らしの高齢者の方などが、地域から孤立することなく、住み慣れた地域で安心して生活をつづけていくためには、早期に問題を発見し、迅速に必要な支援につなげることが重要であり、民生委員・児童委員をはじめとした地域住民による見守り活動は、その大きな役割を果たしています。

活動者の方の「異変に気づいたときにどこに相談したらよいかわからない」「緊急事態にどう行動したらよいかわからない」などの見守り活動に関する不安が少しでも解消され、安心して見守り活動を行っていただけるよう、また、早期発見および、迅速・円滑に関係機関への相談・通報が行われるよう、見守り活動に関わる手順やポイントをまとめた「虎の巻」をこの度作成しました。

本冊子に示す内容はあくまでも一例であり、地域の中での話し合いにより、それぞれの地域に合った形での見守り活動を推進していくことが大切です。そのための一助として、本冊子をご活用いただけると幸いです。

